



第31回 カブト虫 相撲大会

7月21日(日)、町総合体育館にて社会福祉法人愛生会が主催する『第31回カブト虫相撲大会』が開催され、エントリー数約750名、来場者数約2500人を記録しました。開会式では、オープニングセレモニーを愛生会の施設利用者が務め、歌に合わせた手話を披露し、会場からは大きな拍手が沸きました。

競技種目は『相撲』『競歩』『綱渡り』『力くらべ』の4つがあり、参加者らは優勝を目指して自慢のカブトムシで競い合いました。大会が進むにつれて会場は熱気に包まれ、一瞬も目が離せない闘いが繰り広げられました。相撲の部決勝戦は会場中が注目する中、決着がつくと大歓声が沸き起こりました。

大会を終え主催者である愛生会の新平事務局長に感想を聞くと「雨の降る中でしたが、町内外、県外からもたくさんの方に来ていただきました。今年は長引いた梅雨の影響で特にカブト虫の確保等、心配な部分もありましたが、また来年も参加したいと笑顔で帰っていく子どもたちの姿を見ることができ感慨深いものがありました。ボランティアや協賛企業の皆さま、誠にありがとうございました。」と感謝の気持ちを述べました。

